



くみあいだより

J A なんぽろ



JAなんぽろホームページアドレス <http://www.ja-nanporo.or.jp>



南幌町農業協同組合

令和3年産小麦収穫が終わりました

7月中旬より町内全域で秋まき小麦の収穫作業が開始され、大型コンバインが一斉に稼働を始めました。

秋まき小麦は順調に成熟し刈取り時期を迎えて、組合員は連日の猛暑に見舞われながらも懸命に収穫作業を進めていました。

また、同時期よりライスターーミナルでの秋まき小麦の受入も開始され、開始当初より多くの組合員が長蛇の列を作りながら収穫した小麦を



搬入していました。

さりに、秋まき小麦の収穫が落ちついた7月下旬より春まき小麦の収穫及びライスターーミナルへの搬入が始まりました。

春まき小麦も秋まき小麦同様に順調に成熟し刈取り時期を迎えました。

今年度は、収穫期前に雨の降らない期間が長かった事もあり例年に比べ早い成熟となりました。

個人表彰では、当JA渡邊真也JA（ライフアドバイザー）が介護共済・生活障害共済の部において全道3位という成績を収め表彰を受けました。

また店舗表彰では、自動車共済J2クラスにおいて全道7位と好成績を収め、表彰を受けました。

これは、日々積極的な共済推進に尽力し、共済事業に貢献してきた結果によるものです。

共済課表彰



発行者
JAなんばろ青年部
編集責任者 石川 卓也

ぐるの杜で南幌町農産物をPR

8月21日（土）、当JA青年部がホクレンぐるの杜で南幌町農産物の対面販売を行いました。

当口は、4名の盟友が参加し、南幌町産野菜となんぼろピュアライスななつぼし1kg袋を対面で販売し、南幌町の農産物を町外の消費者の方々にPRしました。

また、販売時には、マスク着用・アルコール消毒・ゴム手袋を着用することにより、新農産物をPRしていました。

購入された消費者は盟友に対し、「購入した野菜は、家でどのように料理をして食べればよいのか」「料理は、なにがおすすめなのか」などの質問をしたり、家の献立を楽しみにされている様子で、消費者の反応や生の声を聞く大変良い経験となりました。

これからも青年部では、町内だけでなく町外の消費者とも交流する機会を設け、南幌町農振興組合長、技術部会員にご協力いただきました。

今回の調査は、カメムシ被害防止及び高品質米生産に向けた取り組みであり、今年度の調査の結果、水田防除目安に達する発生は一度もありませんでした。

調査期間の気候はカメムシ発生の好適条件であつたものの、畦畔の防除等の対策をしっかりと行っていた事が今回の結果につながったものだと思います。



令和3年度水稻カメムシ調査実施

南幌町農業指導協議会は、7月12日（月）～

8月16日（月）の各週、町内水稻圃場で水稻カメムシ予察調査を行いました。調査には、各営農振興組合長、技術部会員にご協力いただきました。



新たな農業者を激励



8月23日（月）、JAなんぽろ3階大会議室で令和3年度新規就農者激励会が行われました。今回の激励会には、三浦彩佳さん（晩翠西・戸主竹内正昭氏）、増田秀樹さん（晩翠・有フローア）、十良澤拓弥さん（栄進・有NOAH）、村上颯太さん（晩翠西・戸主村上徹氏）の4名が出席され激励を受けました。

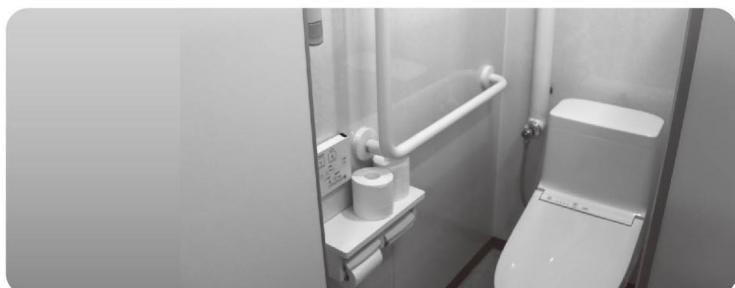
激励会では、各関係機関より激励状や記念品が授与された後、大崎町長より激励があり、林組合長からは「農業は南幌町の基幹産業であり、

困った時は地域や会社の皆さんに助けてくれる。そして、農業とは何かを勉強し、技術を向上させともに進み、喜びを感じながら楽しんで農業作業に従事していただきたい。また、急な気温変化に対する健康面や農作業中の怪我に十分注意し頑張っていただきたい」と新規就農者へ向けて激励の言葉が送られました。

また、新規就農者を代表して三浦彩佳さんは謝辞として「南幌町の農業発展に向け意欲的に取り組みたい」と、これからも営農についての抱負が述べられました。

当JAでは、今後も「来所される皆様に快適に」利用いただける環境作りに尽力してまいります。

皆様に快適にご利用いただく為に





北海道コンサドーレ札幌とJAグループ北海道の食農教育・社会貢献活動シンボルマークが決定!!

北海道コンサドーレ札幌とJAグループ北海道は、SDGsを基本方針とし食農教育・社会貢献活動をさらに発展させていくことを目的として、今年3月に新たに相互協力協定を締結しました。今年4月からは、新たな連携活動の象徴となるシンボルマークの公募を行い、約3カ月間で、道内外から81作品もの応募をいただきました。その中で最優秀賞に輝いたこちらのシンボルマークは、長崎県在住の30代女性がデザインしたもので、今後、「コンサ・土・農園(コンサドーム)」や「みんなのよい食JA親善大使」など、様々な活動で使用される予定です。直近の連携活動としては、「コンサ・土・農園」で収穫した野菜のチャリティー販売を計画しています。トウモロコシは8月下旬・ジャガイモは9月下旬の北海道コンサドーレ札幌のホームゲーム時に、札幌ドームで販売予定です。



【連携活動については、本会SNSでも情報を発信しています!】 Twitter:@JA_HOKKAIDO_PR / Instagram:@ja_dosanko / Facebook:@jahokkaido

JA北海道信連



JAバンクで年金をお受取りされている方を対象に、窓口で「招福ようかん」をプレゼントする「年金サンクスプレゼント」を開催しています。今年は多くのJAで7月1日から、また、一部JAでは8月1日以降からお渡ししています。さらに、北海道警察とも連携して、招福ようかんパッケージに“特殊詐欺被害にあわれないよう注意喚起の標語”も印刷し配布しています。JAバンク北海道は、地域住民の暮らしや財産を守る地域貢献活動に引き続き取組んで参ります。



JA共済連北海道



JA共済では、『自動車共済お見積りキャンペーン』を実施しております。インターネットに開設したキャンペーンWebサイトへご応募いただいた方の中から、抽選で総計13,000名様に家電などの素敵な賞品が当たります。キャンペーンは令和4年3月31日(木)までです。この機会にJA共済のホームページにアクセスいただけますようお待ちしております!

JA共済ホームページアドレス
<https://www.ja-kyosai.or.jp/>



ホクレン



北海道神宮例祭に合わせ大鏡餅を奉納

北海道もち米団地農協連絡協議会（事務局：ホクレン）は6月11日、北海道神宮例祭に合わせて、日本一の生産量※を誇るもち米産地として、疫病退散（新型コロナウイルスの早期収束）と、もち食文化の振興も含めた北海道の農林水産業・経済の持続的な発展を祈願して、北海道産「はくちょうもち」を使用した総重量120kg級の特大鏡餅を北海道神宮へ奉納しました。

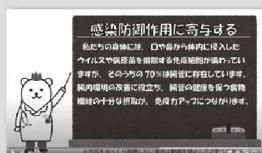


※令和2年産米農産物検査実績（2021年3月31日時点）

JA北海道厚生連



帯広厚生病院のYouTubeで「管理栄養士のお昼ご飯 職場飯編」の動画を公開しております。管理栄養士が教える栄養バランスの良いお弁当の作り方、手抜きの方法など、普段お弁当作りをされている方必見の内容です！是非ご覧ください。



↑動画内のワンシーン

紹介動画への
QRコードはこちら



↑このサムネイルが目印です！

JAグループ北海道の連合会の活動内容を紹介します。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

大地がひとを強くする。

AGRIACTION!
HOKKAIDO



理事会報告

8月11日

8月定例理事会で審議された主な内容について、
次のとおり報告申し上げます。

【議案】

- 1、令和3年産米 RT搬入仮渡金および諸経費の設定について
- 2、マネロンガイドラインとのギャップ分析結果について
- 3、JAグループ北海道不祥事ゼロ運動について
- 4、規程の改正について
- 5、農産物の生育状況について
- 6、7月末 農産物の保管状況について
- 7、7月末 蔬菜販売状況について
- 8、令和3年度南幌町穀類乾燥調製貯蔵施設水稲操業状況について
- 9、要領の制定および改正について
- 10、マネー・ローンダーリング等および反社会的勢力との取引排除に係る対応状況について
- 11、7月末 財務状況について

～表紙の紹介～

◎今更ながら、田舎
友和さん（鶴城）
に表紙を飾っていただけました。



南幌町 フォトコーナー



くみあいだより担当の吉田は、鈴木善友さん（栄進）の大型コンバインに乗せていただきました。



2020東京オリンピックが開催されました。日本は、金メダル獲得数が、アメリカ（39個）と中国（38個）に続く3位（27個）と好成績でした。テレビで応援していると思わず力が入ってしまった場面もありました。

編集後記

私達のJA

令和3年7月末日現在

組合員 2,724名
(前年同期比 ▲24名)

正組合員 450名
(前年同期比 0名)

准組合員 2,274名
(前年同期比 ▲24名)

正組合員戸数 281戸
(前年同期比 ▲4戸)